

第9回田瀬湖一斉清掃＆ごみ川柳大会に参加しました！

田瀬湖一斉清掃＆ごみ川柳大会は、田瀬湖の清掃活動を通じて、猿ヶ石川流域の遠野市・花巻市市民の水資源や河川環境への関心を喚起し、連携と交流を深めることを目的に、毎年開催されています。清掃活動後にはゴミを拾いながら浮かんだ想いを川柳に詠む全国的に珍しい清掃イベントです。令和4年4月24日に開催された第9回大会には遠野支署から5名が参加しました。

当日は春の暖かい日差しの中、田瀬湖上流の猿ヶ石川の川縁で1時間ほどゴミ拾いをし、汗を流しました。毎年同じ場所でゴミ拾いをしていますが、昨年と同じようにゴミが散乱しており、一年でこれだけ流れ着くものかと驚かされます。瓶類や空き缶、ペットボトル、カップ麺の容器などは心ない人たちが軽い気持ちでどこかで投げ捨てた物が大雨の時に流れ着いたと推測されました。ボールの類いも多く見られ、こちらは遊び道具を無くしてしまった子供の姿が思い浮かびました。また、多く見られたのは発泡スチロールのかけらでした。おそらく台風などで吹き飛ばされてゴミになってしまったのではないかと思われ、自分の持ち物が気づかないうちにゴミになってしまわないよう責任を持って管理することが大切だと改めて思いました。



川縁に漂着したゴミは回収することができましたが、劣化して細かくなったプラスチックゴミは、人知れず田瀬ダムを越え、猿ヶ石川から北上川に流れ込み、太平洋まで延々と運ばれていたと思われます。プラスチックゴミを海洋生物が誤食する懸念に加え、近年はマイクロプラスチックが有害物質を吸着し、それが食物連鎖に取り込まれることによる生態系への影響なども懸念されています。清掃活動そのものはもちろん大切ですが、ごみ川柳大会という特異なイベントを通して参加した方も、参加していない方は報道などを通じて、改めて自分の行動を振り返るよい機会になったのではと思います。

さて、清掃活動の後はそれぞれ浮かんだ想いを川柳に詠みました。14賞のうち、森林管理署からは2句が選ばれましたので紹介させていただきます。

捨てたのは ゴミとあなたの 羞恥心 山田 亨
ゴミ拾い ネタも探して 気もそぞろ 新井潤子

(報告：宮守森林事務所 森林官 新井潤子)

